

具体的な適正規模・適正配置の計画の再検討（案）

A案…現基本方針（案）を変更しない。

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・地域分断の解消（岩瀬、新郷、羽生） ・羽生市全体としてのヴィジョンを示すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・反対の多い地区（新郷）の理解を得ることができない。 ・通学距離が現在より長くなる地域がある。

B案…現基本方針（案）の1から5は変更せず、6 具体的な適正規模・適正配置の計画の西中学校区及び南中学校区を、今後再検討する。※東中学校区は変更しない。

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・複式学級の解消（三田ヶ谷小、村君小） ・西、南中学校区の再編成を検討する時間が増える。 ・適正規模（クラス替えができる）の学校再編成ができる。（井泉小、三田ヶ谷小、村君小） 	<ul style="list-style-type: none"> ・反対すれば計画が変わるのかという批判が予想される。 ・再編成計画の進捗が遅くなる。

C案…現基本方針（案）の1から5は変更せず、6 具体的な適正規模・適正配置の計画のすべてを今後再検討とする。

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・学校再編成の必要性について、市民の認知度を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再編成計画の進捗が遅くなる。（問題の先送り） ・計画を止めると、村君地区の児童数が 20人台になる令和 7 年までに対策を進める時間が不足する。